

令和五年

松香 Komunikado

令和五年八月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

ただいまは松香分苑の令和五年八月度の月次祭を、遠方からもご参拝いただき、すがすがしく斎行させていただきました。ご参拝・ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々、誠に有難うございます。

一、瑞生大祭が、八月七日万祥殿にて斎行されました。千個用意した直会弁当が足らなかつたとのことで、予想以上の方が参拝されました。前日には第七十四回大本歌祭りが厳粛に行われました。

八月十三日発行

第三百五号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二一・六三二・二一七三

発行責任者 山本 健

教主様は、み手代百周年の杖立温泉で行われた祭典における感想を歌にされました。

教主様のお歌

「愛善の道杖立に示されぬ 世人救へと聖師様宣りまして」

「聖師様が、み手代をもっと使って、人々を救う御用をなさいと言われてるように思います」と、御挨拶の中で、仰っておられました。翌日の高熊山祭典で、隣の方が、祭典が始まると咳き込んだので、み手代を背中に当ててあげたところ咳は止まりました。祭典後に、み手代で背中が熱くなりましたと言っていました。

次の、瑞泉苑の祭典の際、既に九割方席が埋まっています、前の方で空いているところがあつたので、そこに行つて坐ると、なんと隣に先ほどの方が座っていました。その方は何十年前から、一度風邪をひくと咳が止まらない、と聞いていたので、祭典開始十分前でしたが、お取次ぎさせていただきました。翌日、メールが来て、「咳がすっかり良くなりました。」とのことでした。何十年の咳が一度で止まるのかなとは思いましたが、今現在は止まっているとのことでした。本当におかげ頂けます。宣伝使の方は、どんどん、み手代を活用させていただきましょう。

二、まつの上第十号、教主ご教授集が八月七日付けで発刊されました。

五月に発刊されました、霊界の事に特化して詳しく書かれた別冊と合わせてぜひ、お読みください。特に宣伝使の方は、五月五日に発刊された別冊が、霊界の事を詳しく編集されていますので、何度も読まれて、未信徒の方への説明ができるようにさせていただきますましょう。

三、宣教活動・後継者育成について

分苑の活動活性化と後継者育成に向けて、宣教に欠かせない、大本教義の研修や、お取次ぎ実践、後継者育成も含めた聖地団体参拝など皆さまと一緒に種々の取り組みを今後していきたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。

Koran dankon